

杏雲堂

～病院と皆さまとの懸け橋～

杏雲堂病院広報誌 Vol.20 2022.5.31 発行

▶特集 レディースセンター
新入医師紹介

▶連載 Dr. コラム（放射線科：貞岡俊一）
とくするお薬の話（佐々木研究所：大谷道輝）
入院中の食事紹介（栄養管理科）



レディースセンターへのご受診・ご紹介をお待ちしています！（撮影：2022年5月11日）

創立140周年 を迎え

公益財団法人佐々木研究所附属
杏雲堂病院

副院長兼看護部長
梶原 洋子

杏雲堂病院は、明治15年（1882）開院以来、今年6月1日で創立140周年を迎えることができました。これもひとえに多年にわたり杏雲堂病院をご利用していただき、ありがとうございました。心から感謝を申し上げます。

初代佐々木東洋により「医学の進歩に寄与し、医業を持つて社会に貢献する」という理念のもとに杏雲堂醫院（後の杏雲堂病院）が創設されました。杏雲堂の名の由来は、

神仙伝の一節「人の為に病を治すも銭物をとらず・・・杏の株を植えし・・・数年にして十万余株となり、鬱然として林を成し、杏花雲の如く、杏子大に熟せり。」という言葉からとって名付けた。杏花雲の如き「杏雲堂」である。この名のように病院は盛になり、患者は早朝門扉の開くのを待って、玄関受付に走るようになったため、駅の改札口のような柵が設けられ、一人一人列

をなし受付番号を貰うようになったという。（杏雲堂山脈 澤田白泉著より引用）
開業当時より皆様に愛されていた杏雲堂。

毎年3月、玄関前の杏の木が満開の花をつけた様を観ると歴史の重さを痛感します。140年の歩みは必ずしも平坦な道のりではなく、幾度となく歴史の大転換に遭遇する中で、先人達が手探りながらも時代の変化に合わせ、着実に一步一步道を切り開いてくれました。そしてなによりも皆様との繋がりのおかげです。この140年だと思えます。

現在の医療現場は、少子高齢化や感染症の流行などから過重労働や人手不足といった過酷なもので経済的にも非常に厳しい状況にあります。しかしこのような時代だからこそ、時代を見据え、職員が一人ひとりが地域に根差した愛される病院になるように決意を新たにしたいです。今後とも変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。





特集

～ 婦人科診療に特化した ～

レディースセンター

2022年2月1日開設

※レディースセンターとは、婦人科に関わる病気の診療や予防をするところです。

レディースセンターは、婦人科疾患の診療に特化しており、主に婦人科の良性疾患と悪性疾患を対象としております。

レディースセンターの特徴は、他の診療科から独立したフロアにある女性に優しい診察室で、腹腔鏡手術をはじめとする女性に優しい様々な治療法を提案しています。

創跡が目立たない腹腔鏡下手術は、女性にとって可能であれば選択したい手術です。美容的にも、低侵襲（身体への負担の少ない手術）の側面からも、当院では腹腔鏡下手術を積極的に施行しています。お腹に小さな穴を3〜4か所開けて、腹腔鏡と手術用器械を挿入して、腹腔鏡手術を行います。当院で施行可能な腹腔鏡手術の種類としては、卵巣腫瘍に対する腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術、子宮筋腫に対する腹腔鏡下子宮筋腫核出術や子宮頸がんや子宮体がんに対する腹腔鏡下子宮頸癌根治術（腹腔鏡下骨盤リンパ節郭清術を含む）などがあります。子宮脱に対しては再発率の少ないメッシュを用いた腹腔鏡下仙骨固定術も行います。

また、女性にやさしい他の様々な治療法として、子宮頸部上皮内腫瘍・異型度3（CIN3・高度異形成や上皮内癌）に対する著

効率と妊孕性温存能の高い光線力学療法（PDT）、子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓療法（UAE）、排尿神経温存子宮悪性腫瘍手術、リンパ浮腫軽減を目指したセンチネルリンパ節生検、根治性と妊孕性温存能を兼ね備えた広汎子宮頸部摘出術（トラケクトミー）等を行っています。

レディースセンターの組織は、婦人科、腫瘍内科、消化器外科、病理診断科、遺伝子診療科、放射線科の6つのコアとなる診療科から構成されており、レディースセンターを受診された場合、レディースセンター担当医が適切な診療科に振り分け、チーム診療を行います。悪性腫瘍症例に関しては、定期的に腫瘍カンファレンスを行っています。

婦人科診療に関わる当院のスタッフは、日本の婦人科腫瘍診療の中核施設や地域のがん医療の中心を担う医療機関でトレーニングや診療実績を積み、新規治療開発などにも携わってまいりました。その専門家が今複核化する「婦人科腫瘍診療の科学的根拠」に基づき、また当院が得意とする「小回りが利く診療体制」を最大限発揮し、お一人おひとりの婦人科腫瘍や良性疾患の性質について詳細な検討を行いながら、患者さんファーストの最善の治療方針をご提案していきます。



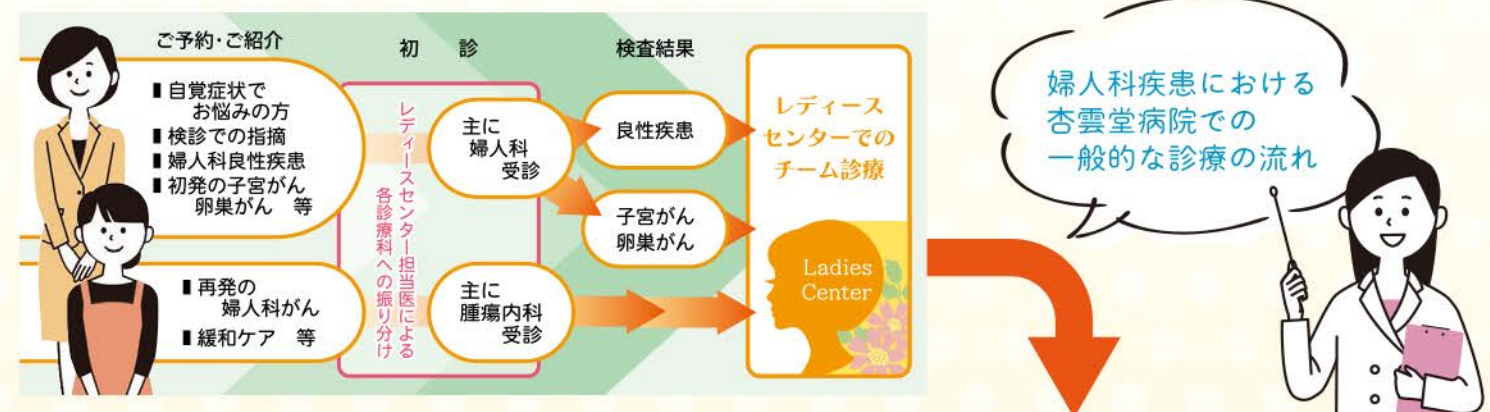
この度、当院 坂本優 副院長が、PDT とトラケクトミーに関する書籍を出版します。近日発売予定ですので、ぜひご覧ください。

- ・タイトル：最新子宮温存治療法 PDT とトラケクトミー
- ・出版社：トランスワールドジャパン株式会社

「患者さんお一人おひとりに寄り添った治療を迅速に行います」

公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院のレディースセンターは、広い年齢層の多様化している婦人科疾患の患者さん、あるいは子宮がんや卵巣がんの予防を希望する女性が、当院を受診した際に、迷わずに的確な診療科で診療を受けていただくことを目的としています。安心安全、かつ日常や社会生活の大きな変化を強いられることなく、個々の患者さんに寄り添った**患者さんファースト**の適切かつ最善最新の治療を迅速にご提供できる環境を実現することを目指し、スタッフ一同努力しています。

副院長 / レディースセンター長 / 東京慈恵会医科大学客員教授：坂本 優



詳細は、特設サイトをご覧ください！



<https://www.kyoundo-hospital.jp/dep/ladies/>



ご予約・ご紹介について

- 受診希望の患者さんのご予約
外来予約センター 03-3292-2058 (直通)
(月～金 9:00～17:00 / 第1.3土 9:00～12:00)
- 医療機関様からのご紹介
地域連携課 03-3292-2054 (直通)
(月～金 9:00～17:00 / 第1.3土 9:00～13:00)



※女性医師をご希望の患者さんは、初診ご予約時にお申し出ください。

入院中の食事紹介

～ 栄養管理科PRESENTS ～
今月の献立 PICK UP 第19回



2022年4月24日 昼食

【献立】

- ・ 薔薇寿司
- ・ たけのこ唐揚げ
- ・ みぞれ和え
- ・ すまし汁
- ・ 今川焼き

【栄養成分】

- ・ エネルギー：640kcal
- ・ たんぱく質：22.1g
- ・ 脂 質：16.5g
- ・ 塩 分：4.3g

注 目 POINT



薔薇寿司の断面写真です。
華やかで美味しそうですね！

管理栄養士 楠山智美
澁谷美帆

当院で評判のよい太巻きの中から特に華やかな薔薇寿司をご紹介します。
現在、全国各地で季節を問わず食べられている太巻きの由来は諸説あります。有名なのは千葉県で、農林水産省選定の「農山漁村の郷土料理百選」にも選ばれています。今回の薔薇寿司は、太巻き祭り寿司、房総巻き、花寿司などと言われているお祝い事やお祭りでお出される彩り豊かな太巻きのひとつです。鮭、桜でんぶ、紅生姜、錦糸卵、野菜漬で絵柄を作っており、醤油をつけずにそのままご賞味いただけます。
太巻きは、きれいに仕上げるために技術が必要です。作り方のコツが先輩から後輩に引き継がれています。

【お知らせ】

6月頃に病院食の献立を一部見直します。これまでは糖尿病や脂質異常症といったエネルギーを調整した食事の方には、薔薇寿司や丼物などを提供しないことも多かったのですが、できるだけ献立に組み込むようにしました。今後も多くの患者さんに満足いただけるよう取り組んでいきます。

杏雲堂病院公開講座 感染防止対策をたたくおこなうための基礎講座

日時：2022年6月23日（木）14：00～14：30
会場：Zoom 開催
対象：どなたでも
参加費：無料



詳細はこちら

お申し込みはこちら



理学療法士が教える 今日からできる腰痛予防・改善教室

日時：2022年7月1日（金）18：00～19：00
会場：御茶ノ水杏雲ビル2階 佐々木記念ホール
参加費：500円（資料代として）
定員：10名（先着順）



詳細はこちら

お申し込みはこちら



今後の予定

貞岡 俊一（さだおか しゃんいち）

杏雲堂病院 放射線部部長 / 放射線科科長
日本医学放射線学会専門医
日本IVR学会専門医
日本脈管学会専門医

杏雲堂病院 Dr. コラム <第19回>

老放射線医の閑話

放射線科：貞岡 俊一

私は昨年4月から東條先生の後任として、現在放射線科部長として勤務しております。専門は放射線画像診断、IVR（画像下治療）です。私は60余年前に東京勤務だった両親の元この近所の浜田病院で生まれました。その際に亡父が撮影した省電の御茶ノ水橋出口を供覧いたします。車は違いますが現在と同じ雰囲気です。この後高知の田舎で育った私は地方の大学を卒業後、新設医大で内科医として勤務し、東京の大学病院放射線科を経て、縁のある御茶ノ水の地で勤務することとなりました。初めて勤務した新設医大にはまだCTが設置されていませんでしたが、全国的にはCTが普及し始めたころでした。これからは画像診断の時代だと感じた私は内科医を辞め、放射線科医となりました。しかし当時では東京の第一線の大学病院でもよっぽど必要でない限りはCTやMRIは施行されていませんでした。これは撮影時間が非常に長くて一日数件しか撮影できず、画像処理にも時間がかかっていたからでした。ですから、当時の学習の主体は単純写真でどこまで診断できるかでした。現在では技術革新もありCTであれば数分で、MRIであれば15分程度で撮影でき、

画像もほぼ同時に出てきます。実は日本は10万人当たりのCT、MRI台数は群を抜いて多く、世界一位です。また、検査件数も世界一位です。しかし、このCT検査の多さが日本の高い発がん率の原因の一つではないかとの意見もあり、被曝について患者さんによく説明してから行うようにと法律が改定されました。
さて、私はその当時始まったばかりの血管撮影装置を利用した低侵襲治療（IVR）にも積極的に関わってききました。これは画像診断の仕事の中では特殊で、患者さんと直接接して治療するものです。この経験を通して多くのことを学びましたが、実際に自分が悪性腫瘍になり化学療法や放射線治療を経験することで、より強く患者さんのための医療について考えることができるようになったと思います。現在は画像診断中心の仕事であり、直接患者さんに接することはほとんどありませんが、画像を通して今後も患者さんのための医療を実践していく所存です。



余計なお世話！？



～第18話～

4月26日、NHKの「あさイチ」という番組に出演しました。「ほったらかし特集」というテーマで「食べ物」や「薬」について紹介されました。薬では、皆さんが良かれと思って行っていることが、逆に薬の効き目を弱めている可能性があるというお話をさせていただきました。目薬は、ようやく正しい使い方が広まってきましたが、未だに点眼後にパチパチと「瞬き」をする方がいます。瞬きをすると目から鼻に繋がっている管から、目薬が多く流れてしまいます。点眼後に苦みを感じたりするのは、この管を通して目薬が口の中に到達するためです。点眼後は、この管の入り口である目頭を押さえて、眼を2～3分間閉じてじっとしててください。粉薬は、飲む前に振ったり、

叩いたりする方が多くいます。振ったり、叩いたりすることで、粉薬を集めて飲み残しを減らすことが目的だと思います。しかし、実際に実験をしてみたところ、叩くことで、静電気などの原因により飲み残しが増えることが判りました。粉薬は振ったり、叩いたりせずにそのまま飲んでください。飲んだ後は、必ず袋の中に粉薬が残っていないか確かめてください。残っているとときは叩くなどをして、飲み残しがないようしてください。杏雲堂病院広報誌では、「とくするお薬の話」を連載しています。是非、毎回ご拝読いただき、薬の適正な使用に役立ててください。



大谷 道輝（おおたに みちてる）：佐々木研究所所属

薬学博士 東京大学附属病院・東京通信病院を経て、杏雲堂病院診療技術部長・薬剤科科長就任後、現在佐々木研究所勤務
多数の書籍執筆や、TV番組出演経験有





2022 年 6 月 外来担当医表

※ ★印は完全予約制
※ 赤字は女性医師

科 名		月	火	水	木	金	土 (午前)
内 科	午前	横江 【総合内科・リウマチ科】	浅井 【呼吸器】	相馬 【総合内科】	唐澤 【総合内科・リウマチ科】	清水 【総合内科・リウマチ科】	(第1,3)相馬 【総合内科】
	午後		根本 【糖尿病】	(第1,3)三浦 【血液】	本澤 【糖尿病】	(第4)橋本 【呼吸器】	(第3)根本 【糖尿病】
消化器・ 肝臓内科	午前	磯村 佐藤新平	—	—	近藤	—	—
	午後	佐藤新平	—	磯村 (第1,3)近藤★ (第4)小尾	松浦	—	—
循環器 内 科	午前	大久保	大城	大久保	大城	(第3)大久保	(第1)浅田 (第3)大城
	午後	大久保	大城	大久保 浅田	大城 亀谷	大城	—
脳神経内科	午前	—	長沼	—	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—
腫瘍内科	午前	佐々木	河野	尾野村	佐々木	河野	(第1)河野 (第3)渡辺★
	午後	和泉 【緩和ケア外来】	河野	—	佐々木	和泉 【緩和ケア外来】	—
消化器 外 科	午前	大沼	高木	内	—	川本 【胆石症外来】	—
	午後	—	大沼	川本	ストマ外来(第1)★	内 高木	—
整形外科	午前	平井 【脊椎】	星野 【股関節・リウマチ】	中村 【膝・スネ・足】 狩谷★ 【股関節】	橋本 【骨粗・脊椎】 松原 【股関節】	堀江 【膝・足関節・足部】 (第2,4)船内 【骨軟部腫瘍】	—
	午後	堀江 【膝・足関節・足部】 山賀 【膝・足関節・足部】	橋本 【骨粗・脊椎】	中村 【膝・スネ・足】 狩谷★ 【股関節】	鈴木 【肩・肘・手】	猪瀬 【骨粗・脊椎】	—
婦人科	午前	(第2,4)坂本★ (第1,3,5)馬屋原	坂本★ 松岡 廣瀬	坂本★ 鳴井 田中	馬屋原 中河西	馬屋原 鳴井 滝川	(第1,3)坂本★ (第1,3)中河西
	午後	(第2,4)坂本★ (第1,3,5)馬屋原	坂本★ 中河西 松岡	坂本★ 鳴井 田中	馬屋原 中河西	馬屋原 滝川	—
乳腺外科	午前	田辺	(第2,4)天野	—	伊藤真由子	小田	—
	午後	田辺	佐藤隆宣★	—	—	小田	—
遺伝子 診療科	午前	—	—	—	—	—	(第1,3)菅野★
	午後	菅野★	—	—	—	菅野★	—
泌尿器科	午前	斉藤	—	—	—	—	—
	午後	斉藤	藤井	—	—	—	—
皮膚科	午前	—	—	落合	—	—	—
	午後	—	落合	—	—	—	—
放射線科	午後	—	福田	茂松	—	大橋	—

<外来予約> TEL: 03-3292-2058 (外来予約センター直通)

<患者さんご紹介等> TEL: 03-3292-2054 FAX: 03-3292-1300 (地域連携課直通)

■ 受付時間: (月～金) 9:00～17:00 (第1,3土) 9:00～12:00 ■



最新情報は
こちらを
ご覧ください

※外来診察時間は、2022年6月現在のものです。

新入医師紹介 2022年4月入職者



脳神経内科 兼リハビリテーション科【医長】 長沼 朋佳 (ながぬま ともか) 常勤医

《日本内科学会認定医・日本神経学会専門医 / 指導医 他》 外来: 火曜 AM

あまり聞き覚えのない科とは思われますが、頭痛やしびれ、物忘れなど
身近な心配事はじっくり丁寧な対応を心がけてまいります。



消化器外科【医員】 高木 諭隆 (たかぎ ゆたか) 常勤医

《日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 他》 外来: 火曜 AM / 金曜 PM

患者さま本位の心温まる医療の実践を心がけてまいります。
よろしくお願いいたします。



消化器外科【医員】 大沼 愛 (おおぬま あい) 常勤医

《千葉大学大学院医学研究員 臓器制御外科学教室》 外来: 月曜 AM / 火曜 PM

一日でも早く皆様のお役に立てるようになるべく、精進してまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。



婦人科【医員】 中河西 絵 (なこうさい かい) 常勤医

《東京慈恵会医科大学産婦人科学講座》 外来: 火曜 PM / 木曜 AM・PM / 第1,3土曜 AM

丁寧な診療を心がけて参ります。一生懸命頑張りますので、
よろしくお願いいたします。

2022.4.1～ 新設診療科

脳神経内科 とは、どんな科ですか？



脳・脊髄・筋肉を主に診ている科です。
国の定める難病であるパーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症 (ALS)
などだけでなく、頭痛、神経痛、感覚障害、運動障害、物忘れ、震え、ふらつきなどの
身近な症状も診療しています。詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.kyoundo-hospital.jp/dep/noushinkei/>

ご寄附のお願い

‘がんとの共存を目指して’

「佐々木隆興・吉田富三がん研究募金」 (略称：がん研究募金)

【お問い合わせ先】

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-2
公益財団法人 佐々木研究所 事務局

TEL：03-3292-8092

Email：head-office@po.kyoundo.jp



詳細は、ホームページをご覧ください <http://www.sasaki-institute.org/donation/>

杏雲堂病院公式 YouTube チャンネル

杏雲堂病院 公式 YouTube チャンネルを開設しました。
動画でも当院について発信してまいりますので、
ぜひチャンネル登録をお願いします。



<https://www.youtube.com/channel/UCWd7LbQwuYi0FNpARUBF28w>

ホームページ内「杏雲堂トピックス」

当院の日々の取り組みや、ちょっとしたニュースを紹介するコーナーです。病院をもっと身近に感じていただけるような、楽しい記事を写真とともに送ります。



<https://www.kyoundo-hospital.jp/topic/6842/>

外 来 の ご 予 約

▶ 外来予約センター

TEL：03-3292-2058 (直通)

受付時間

【平日】9：00～17：00

【第1.3土】9：00～12：00

検 診 の ご 予 約

▶ 検診センター

TEL：0120-132-051 (フリーダイヤル)

TEL：03-3292-0551 (直通)

受付時間

【平日】13：00～16：00

患者さん ご紹介等

▶ 地域連携課

TEL：03-3292-2054 (直通)

FAX：03-3292-1300 (直通)

窓口時間

【平日】9：00～17：00

【第1.3土】9：00～13：00

杏雲堂
Vol.20



公益財団法人 佐々木研究所附属
杏雲堂病院
KYOUNDU HOSPITAL



最新情報は公式 HP をご覧ください
[URL] www.kyoundo-hospital.jp

杏雲堂病院

検索

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8 TEL：03-3292-2051 (代表)

発行：杏雲堂病院 広報部会 発行日：2022 年 5 月 31 日

ご意見ご感想は k-kouhou@po.kyoundo.jp までお寄せください。



今回、レディースセンターの特集をさせていただきました。人には言いにくい女性の健康に関する悩みや不安は多種多様です。そんな女性に寄り添い、支えられる存在となる病院でありたいと思います。そのためにも皆さまに話やすいと思っていただける雰囲気をつくることの大切さをあらためて感じています。

まだまだ新型コロナウイルスに対する感染予防対策は必要ですが、どうぞ皆さま適度にストレスを発散し、元氣にお過ごしください。
(Hisa)